

～OJT指導を通じて職員の介護技術の向上を目指す～

「介護キャリア段位制度」のご案内

全国の2,600を超える事業所が「介護キャリア段位制度」を導入し、介護職員のキャリアアップに向け、人材育成の取組みを実践しています！

介護キャリア段位制度とは

- 介護職員の確保、技術の向上、定着の促進を目的に平成24年度に内閣府で創設された介護現場における『人材育成のためのOJTツール』です。
- 全国共通の評価基準は、食事・排泄介助などの基本介護技術から、感染症対策や部下への技術指導などリーダー層の方に求められる介護技術で構成されています。
- 評価基準が明確であるため、職員のスキルを公平に評価することができます。

アセッサー（評価者）による現場でのOJT指導により、介護職員の技術を向上させ、スキルアップ、キャリアアップを図ります。

◆キャリア段位の技術レベル

レベル4

チーム内でのリーダーシップ
部下に対する指示・指導

レベル3

利用者の状態に応じた介護や他職種との連携等を行うための
幅広い領域の知識・技術を習得し、的確な介護を実践

レベル2

- ②一定の範囲で利用者のニーズや状況の変化を把握・判断しそれに応じた介護を実践
- ①基本的な知識・技術を活用し、決められた手順等に従って、基本的な介護を実践



キャリア段位制度 導入支援策

- 介護職員処遇改善加算におけるキャリアパス要件Ⅱに対応しています。
- 2019年10月から適用される『介護職員等特定処遇改善加算』「職場環境等要件」の「資質の向上」に対応をしています。

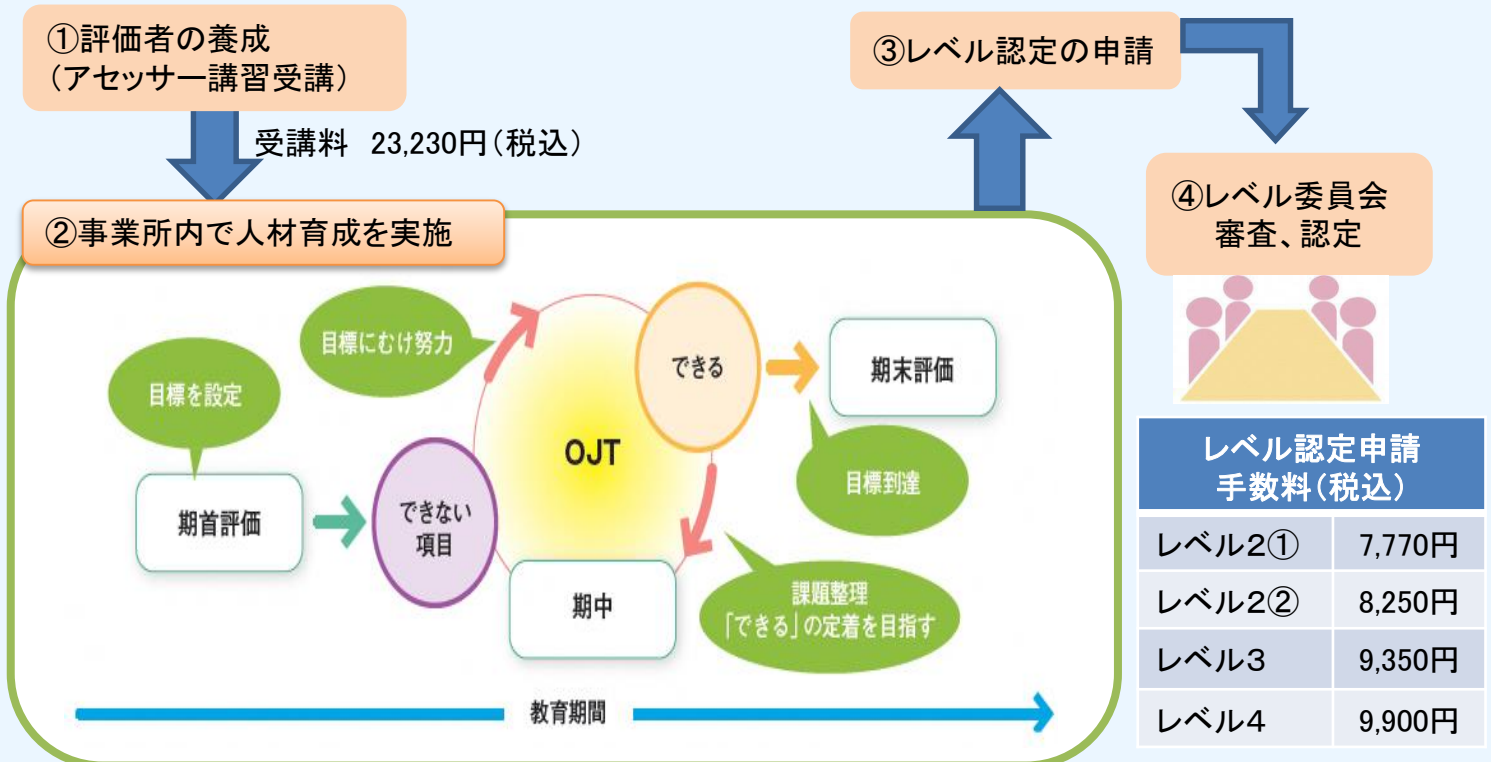
アセッサーの役割

- アセッサーとは事業所・施設内において職員の介護技術を評価・指導する人材です。
- 国内で唯一、アセッサー資格保有者のみ、外国人技能実習制度の試験評価者講習を受講することができます。

キャリア段位制度の導入の流れ

1.アセッサーを養成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業所・施設でキャリア段位制度に取り組むことを決める。 ・ アセッサー(評価者)となる候補者を決めアセッサーを養成する。
2.内部評価(育成)を開始	<ul style="list-style-type: none"> ・ アセッサー(評価者)が評価を受ける被評価者と面談し、目標を設定し、評価・育成を開始する。
3.評価・育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 求められている技術を習得できるまで、繰り返し評価・育成を行う。 ・ 目標レベルの技術が出来るようになった後、認定の申請を行う。
4.レベル認定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有識者で構成するレベル認定委員会での審査の結果、レベル認定となった場合に介護キャリア段位制度の「レベル認定証」を取得する。

<キャリア段位制度のフロー図>



介護キャリア段位制度についての詳細は

介護キャリア段位制度ホームページをご参照ください。

<http://careprofessional.org>

介護キャリア段位

検索



受講料・手数料は2019年10月時点。今後、変更となる場合があります。